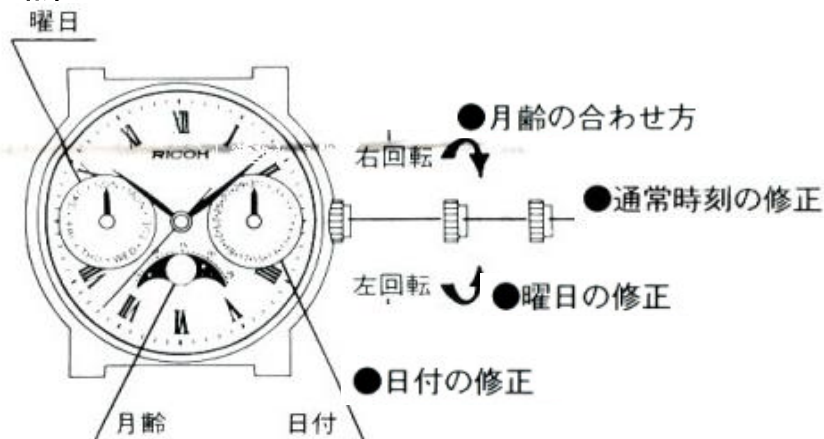


取扱説明書 861型 完成品

[1] 特 徴

通常の中3針による時刻の他に日付、曜日、月齢表示を備えたアナログクォーツ時計です。

[2] 外観と時刻合せ概略案内



[3] 使用方法

各部の名称

●月齢の合わせ方

●時計に月齢目盛りのある場合

①当日の月齢を確認します。今日又は明日の月齢を新聞等で調べます。明日の月齢を見た場合には1日分引きます。

②月齢合わせ

例えば当日の月齢が約15日の場合はリュウズを1段引き位置にして、月マークを時計方向に回転させ月マークの中心方向が月齢目盛のおよそ15を示す位置に合わせます。

●時計に月齢目盛りのない場合

時計に月齢目盛りのついていない場合は、新聞等を見て当日の月齢が0、7、15、22のいずれかの時、“月齢の見方”を参照して該当する月齢表示になるように月マークを合わせます。

※この月齢表示は、月齢を表示したもので月そのものの形を表示したものではありません。

※月齢表示は、月齢の目安としてご利用下さい。従って、月齢合わせも目安で行って下さい。

特に月齢0（朔＝New moon）又は月齢15（満月＝Full moon）の時に月マークを合わせれば、より正確に合わせられます。

●通常時刻の修正

秒針が0秒で停止する様にリュウズを2段引きにして時・分針の針合わせをします。分針は一旦合わせたい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせてください。

注）午前・午後を間違えないように合わせて下さい。

時刻合わせが終了したら時報に合わせてリュウズを押し込むと同時に秒針がスタートします。

●曜日の修正

曜日の修正はリュウズを2段引きにして正回転（時・分針を時計方向に回転）させて修正してください。リュウズを逆回転（時・分針を反時計方向に回転）させて、曜日の修正を行なうと日付けが切替らないことがあります。

注）曜日は午前0時頃から午前5時半前後迄には切替わります。

注）午前0時頃～午前4時30分までは曜日の修正はしないで下さい。曜日が変わらない場合があります。修正はその時間帯以外で行い、曜日修正後に正しい時刻に合わせて下さい。

●日付の修正

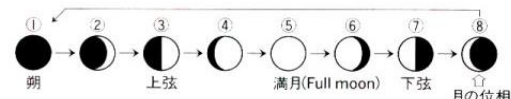
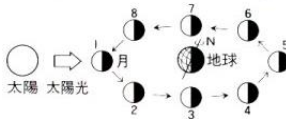
リュウズを1段引きにしてリュウズを左（下の方向）へ回転させて日付の早修正を行います。また午後9時前から午前0時前後の間に早修正を行うと、翌日になっても日付が替わらないことがあります。

注）午後9時～午前1時までには日付の修正はしないで下さい。日付が変わらない場合があります。修正はその時間帯以外で行い、日付修正後に正しい時刻に合わせて下さい。

●月齢とは

●月の満ち欠け

月の満ち欠けは地球から見た太陽と月の位置関係によって変化します。右図において月が(1)の位置にあるとき（月が太陽と同じ方向にあるとき）は、地球から見て月は背後から照らされます。この状態を新月(朔)と呼びます。そこで月はそれぞれの位置によって下図のようになって見えます。



●そして月は①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑧の現象をくり返します。

●月齢とは……朔(New moon)から経過した時間を1日単位で表したものです。朔(New moon)から次の朔(New moon)までの平均周期は、約29.5日に相当します。

●月齢の見方〈表示例〉

朔 (New moon)	上 弦	満月 (Full moon)	下 弦
①月齢 0 (大潮)	②月齢 約7 (小潮)	⑤月齢 約15 (大潮)	⑦月齢 約22 (小潮)

※月齢表示から潮の大小が読み取れます。

☆この時計の月齢をより正確に合わせたい時は、朔(New moon)〔月マークが全く見えない状態…月齢0〕又は、満月(Full moon)〔月が真上(12時方向)にある状態…月齢15〕の時に合わせることをおすすめします。